

宇都宮市立横川西小学校 第4学年児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「家で、学校の宿題をしている」の肯定率は94、1%で市県平均を下回っているが、「家で勉強するときに、だいたい同じ時刻に取り組む」68、2%、「宿題の他に自分で考えた勉強をしている」69、4%、「学校の宿題は、自分のためになっている」97、6%と、市県平均を大きく上回っている。国語の漢字練習、算数の復習問題を基本の宿題として、自主学習の習慣化も含め今後も継続していきたい。

○「クラスは話しやすい雰囲気」の肯定率は82、4%で市県平均を上回っている。「グループの話し合いに自分から進んで参加している」「自分の考えを発表する機会がある」「話し合い活動をよく行っている」も市県平均を上回っている。自分の意見が言えたり、認めてもらえたり、話し合いの楽しさを感じているようなので、話し合い活動を通してよりよいものを追求したり、仲間づくりを深めたりできるよう、今後も継続していきたい。

○「家の人と学校でのできごとについて話している」の肯定率は85、9%、「自分は家族の大切な一員」は94、1%、「家でのきまりややくそくは守っている」は88、2%、「家の人と学習について話をする」は77、6%といずれも市県平均を上回っている。家庭でのコミュニケーションが図られていることが伺える。

○「将来の夢や目標を持っている」の肯定率は94、1%と市県平均を大きく上回っている。また、「自分には、よいところがある」の肯定率は85、9%と市県平均を上回っている。自分のよいところ友達のよいところ、互いに認め合い、気持ちよい学校生活を送りながら、夢や目標に向かって意欲的に活動できるよう、さらに学校生活全体で支援していきたい。

●「本やインターネットなどを利用して、勉強に関する情報を得ている」の肯定率は35、3%と市平均を下回っている。授業での活用機会を増やし、情報収集の選択肢として身に付けさせたい。

●「見てはいけないサイトにつながらないようにしている」の肯定率は44、7%と市平均より上回っているが、ネットの危険性については、今後も保護者への啓発を促していきたい。